

学校課題を共有し解決を図る米沢市小学校長会の組織マネジメント

菊 地 泰 志（米沢市立愛宕小学校）

1 はじめに

学校を取り巻く環境が激しく変化する時代があり、学校課題が山積している。国・県・市の動向を素早く捉えると共に、規模の違う米沢市内16校が独自で判断を行いながら、課題を共有し、実践を深めることも不可欠である。

「情報の共有」「スピード感」「連携」「人材育成」「授業改善」「危機管理」等の課題解決に向けて、市校長会としての組織マネジメントが大切であると考え、組織的な実践を行った。

2 研究の概要

(1) 研究のねらい

- ① 各校が抱える課題を把握し共有を図る。
- ② 毎回の校長会時に具体的な事例をもとに計画的に研修を行い、解決法を探る。
- ③ 各校での実践を通して対応力を高め、情報共有を行い4つの部会（学校経営、学力充実、課題対応、対策・行財政）を軸に組織としての実践力を高める。

(2) 研究の方法

①令和元年度【実態把握】

- ・各校の学校運営上の課題の把握と考察
(アンケート①実施)

- ・校長会全体の年次計画立案と重点の共有

②令和2年度【情報共有及び実践状況の把握】

- ・情報共有と各校での状況把握並びに考察
(アンケート②実施)

③令和3年度以降【実践の深化と継続】

- ・実践の成果と課題の把握。更なる改善点や新たな悩みの共有、課題への取り組み

3 研究の内容

(1) 市内小学校長へのアンケート実施と考察

(2) 校長会組織を活用した取り組み(3事例の紹介)

① 具体的事例を通しての研修

② 校務支援システムを活用した情報共有

③ 防災に対する市当局との連携強化

(3) 各校での取り組み、実践

(4) 実践後の情報共有及び検証と、今後の組織の在り方の検討

4 成果(○)と課題(●)

○定例校長会の年間計画に基づき、先を見通した計画的な研修会等の実施が有効だった。

○校長会の4つの研究部組織の分担と連携がバランスよく機能した。

○校務支援システムの活用による迅速な情報共有が、連携及び課題対応に有効に働いた。

●突発的事案に対する対応力の強化及び市内中学校長会や関係機関との一層の連携に向けた働きかけが重要である。

5 提 言

(1) 「ネットワークシステムの構築を活かす」

情報共有することは、迅速な対応や、協同・連携した課題解決、そして何より各校で抱える悩みを共有し支え合う校長会の組織の強化に有効である。

(2) 「校長会の組織マネジメント力を最大限に活かす」

学校課題解決のためには、「組織」として関係機関との連携をはかり、常に成果と課題を明らかにしながら、計画的かつ継続した取り組みが大切である。